

朝山地区の動き・お知らせ



あさやま

リリカルセンター広報

令和6年1月31日発行
第89号

朝山コミュニティセンター
事業委員会 広報部



年頭にあたつて

朝山地区自治協会 会長 板垣勝正



新年、明けまして
おめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染者も徐々に

減少に向かい、五月にはその対策が緩和され、

行事の多くが再開されました。

当地区においても、九月の運動会、十一月の

文化祭等、各行事に多くの方の参加のもと開催

できましたことは、地区民の皆様や各団体の役

員の皆様のおかげで、感謝申し上げます。

行事の再開に当たっては、コロナ禍の三年の

ブランクは大きく、小学校の統合、少子高齢化

等と相まって、今までとは異なる内容や運営方

法の変更が必須となりましたが、多くの皆様方

の意見、提案を得て盛会に開催できましたこと、

改めて感謝申し上げます。

今年は防災、災害に大きな役割を担っていた

だいります消防団組織の見直し対応、令和三

年水害復旧工事の早期完了、道路等インフラ整

備の要望活動、学校環境の支援等を意見を頂き

ながら進めて行きたいたと考えています。皆様方

の一層のご協力をお願い致します。

新しい年になりますよう祈念し、

年頭の挨拶と致します。

今年は防災、災害に大きな役割を担っていた

だいります消防団組織の見直し対応、令和三

年水害復旧工事の早期完了、道路等インフラ整

備の要望活動、学校環境の支援等を意見を頂き

ながら進めて行きたいたと考えています。皆様方

の一層のご協力をお願い致します。

新しい年になりますよう祈念し、

年頭の挨拶と致します。

ふるさと朝山で見られる動植物 シリーズ⑫

イズモコバイモ

みなさんはイズモコバイモをご存じでしょうか。ユリのなかまの背丈が10~30cmほどの小さな植物で、早春の3月頃他の花に先駆けて先端部に白い可憐な花をつけます。日本にしかないコバイモのなかまは全国に8種知られていますが、イズモコバイモは島根県だけに自生する島根県固有の植物です。とても珍しい植物で、絶滅の恐れがあることから県や国のレッドデータブックにも取り上げられています。花が咲くまでに5~6年ほどかかり、それまではユリの幼葉のように1枚葉で過ごします。花をつけるときには、写真のように5枚の葉をつけます。花が傘型によく開くのが特徴とされています。

イズモコバイモ（出雲小貝母）の名前は、昭和49年に出雲市佐田町反辺地区で発見されたことから名がつけられています。佐田町地内には市の天然記念物に指定されている反辺の群生地の他に何ヶ所か自生地が知られていますが、朝山地区内にも自生しています。みなさんの家の周りにあるかもしれませんので、3月中旬ごろ写真を見て搜してみてください。よく同じころに白い花をつけるミヤマカタバミや、86号で紹介したアマナと間違えやすいので注意してください。もし発見したら、ぜひご一報いただければと思います。

なお、佐田町反辺の群生地では3月中旬に1週間程度一般公開されますので、興味のある方はぜひ足を運んでみてください。

馬木町 佐藤仁志



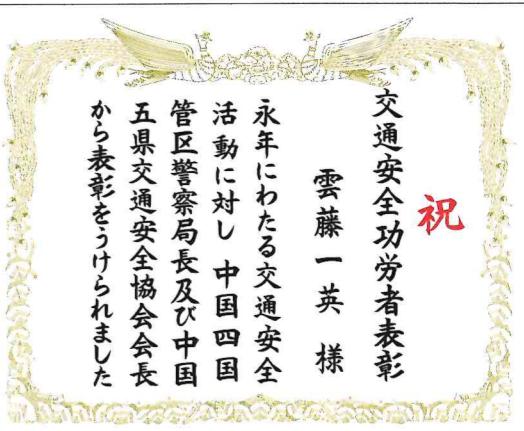
**好天に恵まれ 大盛況
朝山地区 文化祭**



南部地域の参加者73名が窪田地区のウォーキングを楽しみました。「吉栗の郷」を出発し「三所神社」や「やすらぎの森」を巡りました。

10月14日 南部6コミセン
合同自主企画事業

窪田を歩こう! 交流ウォーキング



交通安全功労者表彰
祝
雲藤一英 様

11月30日 朝山地区
安全パトロール隊

歳末特別警戒出動式



出動式の後、全員で朝山地区内を巡回していただきました。

12月17日 まちづくり部
自主企画事業

しめ縄リースづくり



12月21日 おとこ塾
「健康大学」

コミセン大掃除



年末のあわただしい中、窓ふきをしてくださいました。

